

週 報

日本キリスト教団

みなみやま

南山教会

<年間聖句>

「あなたの未来には希望

があると主は言われる」

(エレミヤ書31章17節)

<年主題>

未来の希望を信じて歩む



Since 1947. 8. 1. 創立77周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16

(愛知牧場内)

牧 師 村山盛芳

伝道師 大塚 勁

信徒伝道師 大塚 棕

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

先週の説教から

「豊かな恵み」

コリントの信徒への手紙一 8章1節～15節

エルサレムで生まれた福音は、パウロたちの働きにより、アジアやヨーロッパに伝えられ、紀元55年頃にはローマ帝国内のあちらこちらに教会が立てられました。パウロは経済的に貧しいエルサレム教会を支援するための献金を異邦人教会から募り、それをささげることによって、両者の和解と一致が成ることを願いました。そして異邦人諸教会へ献金の依頼を始めます。

マケドニア諸教会は迫害の中にあり、経済的には貧しかったようです。パウロは彼らの貧しさを知っていたので、あえて献金を勧めませんでした。諸教会は自発的に献金を申し出、力以上のものを献金してくれました(1～5節)。パウロはこのマケドニア諸教会のように、コリントのあなた方もエルサレム教会に対する献金に真剣に取り組んでほしいと記します(7節)。

しかしパウロはコリント教会の献金に対する冷めた考え方を熟知していますから、できるだけ押し付けにならないように配慮しています(8節)。パウロは献金を経済的な事柄ではなく、「与えられる恵み」の出来事だと考えています。キリストは私たちのために死んで下さった。キリストを通して神の子とさせていただいた私達が、どうして貧しい兄弟を見て見ぬ振りが出来ようか。「主が貧しくなって下さったのだから、私達も貧しくなろうではないか」とパウロは語ります。

そしてパウロは出エジプト記16章18節の記事を引きながら、コリントの信徒たちに語りかけます(15節)。「必要なものは主が与えて下さる。今、あなたがたが生きるために必要なもの以上をいただければ、それを主にささげなさい。多く持つことにより、私たちの心の中に惜しむ気持ちが生まれる。必要以上のゆとりは腐ったマナになりかねないのだ。必要以上に持っているものを、持たない人と分かち合う行為が献金なのだ。キリストは私たちを愛するあまり、貧しくなって下さった。だから、私たちもキリストの相続人として隣人のために貧しくなるのだ」と。

(村山盛芳)

110114・4・111

4組10部団内

21120

副副副副副副副副副副

司 祭

領 米 112 (116部団内)

生 徒 211 111 A

交 迎 211111 111111 (111111)

副 副 111111 111111

111111 111111 (111111)

司 祭 111111 (111111)

祈 禱 111111 (111111)

説 教 「111111 111111」

祈 禱 111111 (111111)

今 週 の 説 教 111111 (111111)

司 祭 111111 (111111)

献 金 111111

領 米 111111 (111111)

祝 禱

後 祭

... 111111 ...

111111 111111 QRコード

